

雪道走行を万全に！

～慣れていても、油断すると事故につながるのが雪道です。雪道を安全に走行し事故を防ぎましょう！～

ノーマルタイヤは厳禁！！

ノーマルタイヤでの雪道走行は、スリップ事故を招いたり、立ち往生などによる交通渋滞を引き起こすおそれがあります。



急な降雪に備え、必ずスタッドレスタイヤに交換し、チェーンを搭載しておくなどの対策をしておきましょう。

「急」のつく運転操作は禁止！



スタッドレスタイヤは、万能ではありません。

急ハンドル、急ブレーキ、急加速など「急」のつく運転操作はスリップを招きます。

雪道では、緩やかな運転と慎重かつ丁寧な運転を心がけましょう。

降雪時は同化現象に注意！

降雪時、ボディの白い車は雪景色と同化し、見えにくくなるため、接近していると追突等の危険があります。

雪で視界が悪いときは、スピードを落とし、車間距離を十分とりましょう。



早朝・夜間の路面凍結に注意！

路面状態で一番危険なのは凍結です。

特に気温の下がる早朝や夜間は、濡れているだけに見える路面が、実は、凍結していることがあります。路面をよく見て慎重に運転しましょう。



こんな場所は凍結注意！

トンネルの出入口



橋の上



日陰



切り通し



車が雪で埋まったら... 一酸化炭素中毒の危険性！

JAFによるユーザーテストでは、車の周囲を埋めるだけでなく、ボンネットの上まで雪を被せた状態（ワイパー下の外気取り入れ口を塞いだ状態）でエンジンをかけ、空調を外気導入にして車内のCO濃度を検証したところ、排ガスが車体の下側に溜まり、エアコンの外気導入口を伝って排ガスが車内に吸い込まれていくことが確認できました。その濃度は身体への影響が「3時間ほどで致死」という非常に危険な状態にあることを意味します。また、空調を内気循環にしても車体の隙間等から排ガスが車内に入る危険性があります。

一酸化炭素中毒を防ぐには、マフラーの周辺を定期的を除雪することが重要です。天候や状況によって短時間のうちに車が雪に深く埋まることもあります。降雪時に車内にとどまる際には、できるだけエンジンを切るようにしましょう。

また、冬場は万が一に備えて除雪用のスコップや防寒着、毛布などを車内に用意しておくといいです。

